

柔 道

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟
- 2 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 新発田市教育委員会 (公財) 新潟県スポーツ協会
(公財) 新発田市スポーツ協会 新潟県柔道連盟 下越地区柔道連盟 新潟日报社
- 3 主 管 下越地区中学校体育連盟 新発田市中学校体育連盟
- 4 後 援 新発田市
- 5 期 日 令和4年7月16日(土)・17日(日)

6 日 程

16日(土)	代表者・審判会議	9:00
	選手整列	9:40
	開会式	9:45
	競技開始 男女団体戦決勝まで	10:15
	競技終了予定	16:00
17日(日)	代表者・審判会議	9:00
	競技開始(男女個人戦全階級)	9:45
	競技終了	15:00
	閉会式	15:10
	会場復元	15:40
	会場復元終了予定	16:40(出場校は畳撤去のみ)

※開場時間 7:30 両日とも

- 7 競技会場 新発田市カルチャーセンター
- 8 競技種目 男子・女子団体戦、男子・女子個人戦
- 9 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定、国内における「少年大会特別規定」(いずれも2022年改訂版)、及び日本中体連柔道競技部主催大会申し合わせ事項、本大会申し合わせ事項(教育的配慮事項等)による。また、柔道衣点検で合格した柔道衣を着用し、競技を行う。
- 10 競技方法 (1) 団体戦
- ① 登録人員(男子) 監督1名 コーチ1名 選手5名 補員2名 計9名
(女子) 監督1名 コーチ1名 選手3名 補員1名 計6名
監督は当該校の校長・教員、又は部活動指導員であること。
なお、コーチが当該校の教員・部活動指導員以外の場合は、指導者承認書を提出する。また、学校事情により他校の教員に監督を依頼する場合は、依頼監督報告書を提出する。(個人戦も同様とする)
 - ② 試合形式(男子) 選手5名による点取り方式とする。
(女子) 選手3名による点取り方式とする。
 - ③ 試合時間は3分間とし、決勝トーナメントにて代表戦3分間で決着がつかない場合、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア、以下表記:GS)で決定する。
 - ④ 審判は主審1名、副審2名の3審制。主審はローテーションする。個人戦も同様。
 - ⑤ 試合方法
ア 男子団体戦
4チームずつの4グループに分けて予選リーグを行い、各グループの1位、2位チームを予選通過とする。予選通過の8チームにより決勝トーナメントを行い、順位を

決定する。この際シード制をとり、予選同グループのチームは決勝まで対戦しないようにする。決勝トーナメント組合せは専門部であらかじめ決定する。

イ 女子団体戦

トーナメント戦とする。ただし、地区大会結果を考慮し、シード制をとる。組合せは申込終了後、準備会にて抽選を行う。

ウ 選手編成は、男女ともに体重の最も重い者を「大将」とし、以下順次体重順に編成する。選手を補員に変更し補充する際も、体重順に従って選手を並べ替える。

エ チーム人員が男子5名（女子3名）に満たない場合においては、不足人員分は「不戦敗」とする。人員不足で対戦する場合、対戦順の早い者の側を空けて、「不戦勝ち」を相手に与える。（先鋒から順に明けていく）不戦勝は、1本勝ちと同等とする。

オ メンバー登録後に事故者があり、7月16日（土）当日の朝、登録人員に満たない場合は、代表者会議において登録メンバーの補充を申し出ることができる。選手補充にあたっては、当該校長の発行した出場認知書（事前に専門部より配付）を代表者会議前に専門部長へ提出する。代表者会議後のメンバーの補充は認めない。

カ 事故等により試合を一度退いた選手は、その後の団体戦には出場できない。ただし、2日目の個人戦には出場できる。

⑥ 勝敗の判定基準は次の通りとする。

ア 勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。

◎「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技有）が無い、又は同等の場合に「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差以内であれば「引き分け」とする。

イ リーグ戦終了後の結果、試合内容が同じ場合は、その試合に出場した任意の選手を選び、試合（3分間）を1回のみ行い、勝敗がつかなかった場合はGSで勝敗を決し、順位を決定する。

ウ 決勝トーナメントにおける代表戦は、その試合に出場した任意の選手を選び、試合（3分間）を1回のみ行い、勝敗がつかなかった場合は、GSで勝敗を決する。代表戦の勝敗の判定基準は、個人戦と同様とする。

エ 順位決定は次の通りとする。

男子予選リーグ	ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
	イ アにおいて同等の場合は、勝者数の合計による。
	ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
	エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
	オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
	カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。
男子決勝トーナメント	ア チーム間における勝ち数による。
女子トーナメント	イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
	ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦

① 試合形式は男女各階級とも16人によるトーナメント方式で行う。原則として同地区の選手が1回戦で対戦しないようにする。ただし、地区順位が低い選手（5位以下）や補充選手については、1回戦から同地区が対戦する場合もある。

② 試合時間は3分間とし、延長戦（GS）は無制限とする。

③ 勝敗の判定基準は、「一本」・「技有」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無く指導差が1以内の場合はGSにより勝敗を決する。GSにおいて「最初にスコアを得た選手が勝ち」又は「指導差が上回った時点でその選手の負け」となる。

④ 両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、GSにより勝敗を決する。さらに両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、次の試合者は抽選で決める。決勝戦の場合は、GSによる再試合を行う。

⑤ 準決勝戦敗退選手による3位決定戦を行う。

11 参加資格 (1) ①男子団体戦

新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	実績枠	合計
5	4	3	2	2	16

※実績枠は各地区大会，前年度県新人大会の結果を参考に決定する。

②女子団体戦 オープン参加

(2) 個人戦

①男子体重区分

50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級

②女子体重区分

40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級

③各地区出場枠は、男女各階級とも以下の通りとする。

新潟地区	下越地区	中越地区	上越地区	実績枠	合計
5	4	3	3	1	16

※実績枠は、前年度県新人体重別大会優勝者所属地区から1名とする。

④地区大会参加申込時に県大会参加人数に満たない地区・階級がでた場合は、専門部で協議し、補充分を各地区に割り当てる。

(3) 学年問わず、6ヶ月以上の柔道経験を有する者。

12 計量 及び 柔道衣点検 (1) 団体戦

- ① 7月16日(土) 8:00~8:45に大会会場において行う。
- ② 計量は1回のみとし、服装は男子上半身は裸、女子上半身はTシャツとする。
- ③ 計量、柔道衣点検を受けない者は失格となる。

(2) 個人戦

- ① 7月16日(土) 8:00~8:45に大会会場において、団体戦の計量後に行う。ただし、17日(日) 8:00~8:45にも計量を行うことができる。16日(土)に合格した者は17日(日)は計量しない。
- ② 時間内ならば何回行ってもよい。服装は団体戦と同じとするが、全裸などで計測しなければならない場合には、事前に申し出て別室で行うこととする。
- ③ 計量、柔道衣点検を受けない者、また、個人戦の規定に合わない者は失格となる。

(3) 柔道衣点検

- ① 男女とも計量と同じ場所において行う。
- ② 規定にあった柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。合わない場合は失格になることもある。
- ③ ゼッケン(学校名・名字入り)は、柔道衣に規定通りにミシン等でしっかりと縫い付けて出場する。(下記を参照)

【ゼッケンについて】

ア 布地は白。サイズは横30~35cm、縦25~30cm。

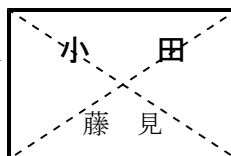
イ 名字は(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3。

ウ 書体は太字ゴシック体(明朝体又は楷書でもよい)、男子は黒色、女子は濃い赤色。

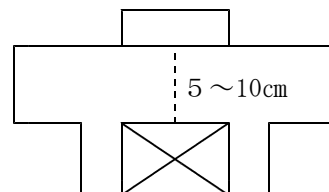
エ 縫い付ける場所は襟の下から5~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

【規格】

縦
25~30cm



横: 30~35cm



④ 女子は、上衣の下に半袖丸首シャツ、レオタード等(白色)を着用すること。所属校の体操着を着用してもよいが校章、氏名等のワンポイントは規定の範囲内で可(ル

ール上は100cmまで)とする。当日規定に合っていないものを着用している時は、失格となる場合がある。

13 表彰

- (1) 団体戦
 - ① 1位に優勝旗、優勝杯、2位には準優勝杯(長沢杯)を授与する。(持ち回り)また、メダルを授与する。
 - ② 3位まで賞状を授与。(個人賞状も与える。)ただし、3位は2校とする。
- (2) 個人戦
 - ① 各階級上位8位までに賞状、1位にメダルを授与する。ただし、3、4位は決定戦を行い、順位を決定する。

14 申し込み

地区大会前に下記の必要書類を作成し、地区大会に持参する。出場が決定した学校は地区大会2日目に手続きを完了する。

- (1) 県大会申込書(校長職印) **A4版**で印刷
 - (2) 参加料納付書
 - (3) 参加料(1人1,000円)
- 必要な学校は以下の書類を提出する。
- (4) 宿泊申込書
 - (5) 指導者承認書
 - (6) その他、必要書類
 - (7) 県大会参加申込後に監督等を変更しなければならない場合は、「監督変更願」を事前に大会事務局に必ず提出すること。

15 その他

- (1) 本大会は全国大会、北信越大会の予選を兼ねる。
- (2) 男女団体戦1位は全国大会、北信越大会に、2位は北信越大会に出場できる。
- (3) 男女個人戦各階級1位は全国大会、2位、3位は北信越大会に出場できる。
- (4) 監督、コーチは、審判員に準じた服装をすること。ジャージ等は認めない。
- (5) 態度の悪い監督、コーチ、保護者がいる場合は会場から退場してもらう場合がある。
- (6) 1日目終了後、審判会議を行う。
- (7) 外部指導者登録については、下記の定めるところにより所定の手続きを行う。

外部指導者は、当該校の校長が認めた者であること。なお、コーチが当該校教員以外の場合は指導者承認書を提出すること。
ただし、中学校教員は他校の外部指導者(コーチ)にはなれない。また、同一人が複数チームの外部指導者(コーチ)になれない。

- (8) 北信越大会の申込受付、全国大会申込説明を本大会2日目終了後行うので、出場資格を得た学校の監督は必ず参加すること。
- (9) 大会2日目に会場復元を行います。その際、参加校は畳撤去作業だけで結構ですので、できるだけ参加して下さい。ご協力をお願いします。
- (10) コロナウィルス感染予防対策について
 - ・ すべての大会参加者は事前に配布する調査票に体温・体調等を記入し、受付で提出すること。
 - ・ 観客の有無、その他詳細については、組み合わせ抽選後に送付する事前連絡を確認すること。